

必要性の有無についての意見書

平成15年3月27日

PI外環沿線協議会協議員 宿澤 藤子

行政側は必要性云々と云われますが必要として、市街地を巻き込んで計画した外環を凍結したまゝ、今迄30余年間も放置し住民生活に不安を与えてきた怠慢は此の上ない重大な責任です。

東京オリンピックの時代には必要性も大いに感じたでしょうが、現況は人口も減るようになり環境破壊と公害発生の只々通り抜けだけの交通とのいたちごっここと云はざるを得ない道路は、住民を泣かせて迄も造らねばならないとは、とても考えられません。

石原都知事は住民の「エゴ」と申されますが知事自身の「エゴ」ではないでしょうか、御自身の名誉のためではないでしょうか。

近頃は政府も何かと言うと国民に負担を掛ける、或いは国民に我慢させる事柄が多すぎます、住民だってそうそうお人好しにはなって居られません、必要のない道路計画は中止しましょう。「アクアライン」の二の舞になります。

都内を迂回道路だけにしてどうするつもりですか。

街造りには程遠くなります、面子だけに拘るのはやめましょう。都内の高速道路だけでも昔からの名所も景観が台無しになった場所もあります。

例として（日本橋界隈）等、税金で道路予算があるならば地方の発展に伴い高速道路の必要性を認める所に廻わせばよいでしょう。

私達は如何にして公害のない生活環境の良い町を守るかに必死です。況して青梅街道に環境破壊と公害発生のインターなんてとんでもありません。

青梅街道インターチェンジの設置反対に付いての意見書

平成 15 年 3 月 14 日石原東京都知事が東京外郭環状道路（関越～東名高速間）に関する方針に付いて記者会見が行われました。翌日朝刊にて各新聞社があたかも地元住民が要望したような報道もありましたが、私共杉並区善福寺さくら町会は現在計画決定凍結中の此の場所は外環道路計画に就いては 36 年余に亘り絶対反対をして居るところです。と同時に青梅街道にインターチェンジが設置されることについては如何なる構造であっても絶対反対であることを改めて表明致します。

要望住民は練馬区の一部の方々であって同じ練馬でも関町南地区の方々はインター設置に反対されて居ります。一部の要望のために青梅街道を挟んだ私達杉並住民は大変迷惑して居ります。住民は皆怒って居ります。

有識者委員長の御厨先生の最終提言でインター無しでとの御意見で御座居ました。

私共杉並は絶対青梅街道インターは反対です。

平成 15 年 3 月 25 日

協議員 宿澤 藤子